

西南中国における 古代産業考古学の 最前線

現在、中国の四川や雲南などの西南中国地域では、青銅器時代の新たな遺跡の発見が相次いでいます。本シンポジウムでは、独特の文化を持つことで知られる成都市郊外の三星堆遺跡と、そしてベトナム国境に近い雲南の古代青銅器生産に関わる遺跡の発掘調査と研究の成果をご紹介します。活発化する西南中国の古代産業考古学の最前線を見てみたいと思います。



四川三星堆遺跡出土銅人像



四川三星堆遺跡出土金製面具



雲南龍陵河遺跡出土銅型

【研究報告】

三星堆遺跡祭祀坑の発掘調査と新発見

李玉牛（四川大学考古文博学院講師）

雲南における初期青銅生産の考古学

付傑（四川大学考古文博学院博士課程）

【総括】

李映福（四川大学考古文博学院教授）

村上恭通（愛媛大学アジア古代産業考古学センター教授）

オンライン開催(YouTube)

2022年3月19日(土) 10:00

～22日(火) 16:00

YouTubeで「**アジア古代産業考古学**」と検索いただくか、
<https://youtu.be/ioCgTl3idVg> と直接打ち込むか、
してください。QRコードからも検索
できます。**登録や申込みは不要**で、
どなたでもご覧になれます。



写真上・中：新華社より転載、写真下：四川大学より提供